

子育て支援・少子化対策の推進、子どもの安全・安心の確保



1 家庭、地域における子育て支援

- 【**拡**】**病児・病後児保育の推進** 470万円(厚生)
新規開設施設への運営支援(H⑩～累計3施設)、空き状況確認システム構築等
- 【**新**】**新川こども屋内レクリエーション施設調査事業** ※1,000万円
雨天等でも子どもが利用できるレクリエーション施設の整備に向けた検討・地質調査等
- 【**新**】**家族でハッピー！産後ヘルパー派遣モデル事業** 300万円
産後2か月までの間の家事サポート利用を支援(都道府県レベルでは、全国で2例目)県内4市町村程度でモデル実施
(2h6,000円の利用料金の場合、県・市町村・業者負担により1,500円で利用可)
- 【**新**】**高校生に対する保育士の魅力発信** ※100万円(厚生)
高校生の保育所体験バスツアーの実施等

2 仕事と子育ての両立支援

- 【**新**】**中小企業の働き方改革モデル取組事例創出事業** 1,200万円
実践モデル企業を選定し、伴走支援型コンサルティングによる取組みを横展開
- 【**新**】**男性の育休取得キャンペーン事業** 400万円
男性の育休取得の推進に向けた管理職向けセミナーの開催、モデルとなる父子手帳の作成

3 次世代を担う子どもや若者への支援

■ 結婚を希望する男女への支援

- 【**拡**】**とやまマリッジサポートセンター運営事業** 2,500万円
サテライト会場の拡充、婚活セミナーをしたうえでマッチングを実施
- 【**新**】**企業の結婚支援推進事業** 700万円
企業間交流を促すコーディネーターの設置(経営者協会等と連携)等

■ 子どもの権利と利益の尊重

- 【**新**】**富山児童相談所の改修** 3,081万円(厚生)
- 【**新**】**高岡児童相談所の移転改築に係る基本設計・実施設計等** 3,859万円(厚生)
- 【**拡**】**児童相談所における児童福祉司等の増+4名(厚生)**
(児童福祉司 28名→31名、児童心理司 14名→15名)
- 【**新**】**DV対応・児童虐待対応連携強化事業** 305万円(厚生)
女性相談センターに「児童虐待防止対応コーディネーター」を配置
- 【**新**】**里親制度普及・リクルート事業** 400万円(厚生)
里親リクルーターを配置し、要保護児童の里親の新規開拓を促進

4 経済的負担の軽減

- ・**保育所等保育料軽減事業** 1億3,837万円(厚生)
国の保育料無償化対象とならない0～2歳児の保育料について、
・低所得世帯の第1子、第2子の保育料無償化・軽減 4,391万円
・第3子以降の保育料原則無償化 9,446万円
- ・**保育所等副食費軽減事業** 3,236万円(厚生)
- 【**拡**】**とやまっ子 子育て応援券の配付** 1億4,022万円(厚生)
対象サービス:R①一時保育等→R②:「民間の家事・育児サービス」を追加
- 【**拡**】**私立高等学校の授業料減免事業** 7,920万円
・国の無償化対象外である年収590～910万円世帯の授業料の一部助成(3,300円/月 ※)を新たに実施
※全国平均授業料33,000円/月の10%相当
- 【**拡**】**私立高等学校の入学料等減免事業** 2,139万円
・低所得世帯の入学料等の軽減を拡充(74,350円→124,350円 ※)
※私立高校入学料130,000円と県立高校入学料5,650円の差額相当
- 【**新**】**私立専門学校の授業料等減免事業** 2億4,081万円
国の制度を活用し、低所得世帯の学生の授業料等を減免
- ・**不妊治療費助成事業** 2億1,170万円(厚生)
所得・回数制限を設けない全国トップクラスの支援(国制限:所得730万円、回数6回)
- ・**不育症治療費助成事業** 288万円(厚生)
上限30万円。所得や通算回数、年齢による制限を設けない全国トップクラスの支援

県単独の支援総額は
国無償化前より拡充
R①9,441万円
→R②1億59万円

5 子育て支援の気運の醸成

- 【**新**】**「とやまっ子 みらいプラン」基本シンポジウムの開催** ※350万円
特に男性を対象としたシンポジウム等を開催
- 【**新**】**みんなで子育て ベビーシート等設置促進事業** ※1,540万円
商業施設などの男性トイレ等への設置支援など、男性を含めた家族みんなでの育児を促進

6 子どもの安心・安全

- 【**拡**】**県立高校普通教室空調整備事業(再掲)** 4億5,093万円(教委)
- 【**拡**】**信号機の新設・改良(LED化)[一部2月補正](再掲)** 1億5,000万円(警察)
- 【**新**】**地域安全マップづくり推進事業** 100万円(教委)
モデル校(4校)での地域安全マップの作成や教職員対象の講習会の開催
- ・**学校安全対策緊急点検事業** 524万円(警察)
すべての学校の防犯マニュアルの緊急点検を2カ年(R1～R2)で実施

5G×ICTインフラ利活用の推進

5Gの利活用

IoT、AIなどICT技術の利活用

【新】ローカル5Gを活用した地域課題解決の実証 3億円

国予算を活用し、鳥獣被害対策や建設現場の労働生産性向上等の地域課題解決に向けたモデル事業を実施

現在検討中の取組み

鳥獣被害対策分野



<効果>

- ・農作物被害減少、地域住民負担軽減
- ・撃退機器は、平時は農作業機器として活用し、農作業の省力化を期待

建設産業分野



<効果>

- ・建設現場の労働生産性向上
- ・経験の浅い作業員も安全な環境下での作業が可能。現場での技術の伝承も期待

【拡】5G利活用の検討と普及啓発 ※670万円

- ・「5G×ICTインフラ利活用検討会」を中心にさらなる利活用を検討
- ・国内第一人者である森川東大教授による経営者向け講演会
- ・県内企業・自治体関係者向け分野別セミナーの開催



5G×ICTインフラ利活用検討会

eスポーツの振興

【新】eスポーツイベント支援事業 ※1,000万円

県内各地域(4市町村)でのeスポーツイベント開催に対する支援



Toyama Gamers Day 2019 (R.元. 9. 28)

【新】eスポーツ海外誘客促進事業 ※320万円

台湾のeスポーツプロ選手を招請し、SNSでの情報発信を通じて台湾からの誘客を促進

○産業振興分野

【新】IoT・AI・5G活用生産性向上推進事業 ※1億270万円【商労】

県内企業の導入・活用段階に応じ、IoT、AIの導入、人材育成等を伴走型で支援

【拡】新成長産業育成支援資金 10億円(利率1.10%以内、新規融資枠25億円)

5G等の研究開発・製造業を融資対象に追加

【商労】(再掲) IoTを指導する人材の育成

・IoT支援特別資金・利子補給 2億4,360万円(実質無利子、新規融資枠6億円)【商労】



○医療・福祉分野

【新】eスポーツ介護予防促進事業 1,000万円【厚生】

高齢者のeスポーツ体験やゲームの開発等による介護予防



直線キープ田植機

○農業分野

【新】とやまスマート農業拠点(仮称)施設整備事業 [2月補正]

4億4,611万円【農林】(再掲)

【新】「次世代につなぐ集落営農」スマート農業支援事業 ※1,200万円【農林】(再掲)

集落営農組織へのスマート農業機械等の導入を支援、経営効率化や継承を促進

【拡】とやま型スマート農業推進事業 4,700万円【農林】(再掲)

ICTやロボット等を活用したスマート農業技術の導入効果等の実証

○土木分野

【新】道路パトロール業務ICT管理システム整備事業 1,600万円【土木】

パトロールの情報を土木センター等がリアルタイムで把握・管理するシステムの構築

【新】ICT活用遠隔地施工管理モデル事業 120万円【土木】

工事現場の施工管理や若手技術者の現場指導を遠隔地からカメラ映像等により実施

【新】IoTを活用した除雪機械運行管理システム整備事業 5,978万円【土木】

除雪機械の運行状況をリアルタイムで把握し、立ち往生等の被害に迅速に対応可能な体制を構築

約600台にGPS設置

○教育分野

【拡】ICT教育推進事業 1億7,448万円【教委】(再掲)[一部2月補正]

国の新たなICT教育方針(R5年度までに小中学生1人1台体制)を踏まえ、県立学校において、R5年度までに教員や職業科生徒、特別支援学校(小中学部)児童・生徒にタブレットを1人1台ずつ整備(全国でも先行的な取り組み)

○県庁の働き方改革分野

【新】スマートオフィス推進事業 230万円

サテライトオフィス設置、フリーアドレスやペーパーレス会議の試行導入等

【拡】RPA導入事業 583万円

定型業務の一部自動化を3→6業務に拡大し、業務効率化を促進(想定業務:給与算定業務等)



フリーアドレスの例

人材の確保・育成～県民の活躍と働き方改革の推進、移住・定住の促進～

多様な人材の活躍支援

人材活躍推進センター関係予算
R① 2億2,892万円
⇒R② 3億9,692万円

移住・定住の促進

県の移住・Uターン促進関係予算(移住支援金除き)
R① 2億5,473万円⇒R② 2億6,135万円

新) 人材活躍推進コーディネーターの配置[840万円][商労]
人材活躍推進センターにコーディネーターを配置し、企業の採用・人材育成を支援

新) 就活女性等就業支援事業[200万円][商労]
県内企業への転職・再就職等を目指す県内外の女性を対象に合同企業説明会を開催

新) テレワークによる女性の多様な働き方支援事業[400万円]
ITスキル等のセミナー、企業との仕事マッチング等により、女性の活躍を支援

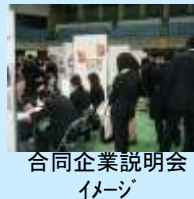
拡) プロフェッショナル人材確保事業 [4,350万円][商労]
県内企業の経営戦略策定や人材マッチングを支援する戦略拠点の体制強化等

とやまシニア専門人材バンク事業[2,199万円][商労]
相談会等により専門的知識・技術を有する高齢者の就業を支援

新) アジア高度人材受入事業 [3,000万円][商労]
ベトナムのトップクラスの理系大学の学生等の県内就職・活躍のため、以下の取組みを実施し、採用から受入れまでを一体的に支援
①募集、②採用選考、③富山就職プログラム(日本語研修等5カ月間)、
④受入後のフォロー(日本語能力向上など)

《就職氷河期世代等活躍支援》

新) 就職氷河期世代支援事業[2,000万円][商労]
①「正社員就職プログラム(適職診断、面接対策等)」や②合同企業説明会、
③スカウト面接会、④新聞広告によるPRを実施し、民間企業就職を支援



合同企業説明会イメージ

新) 就職氷河期世代を対象とした県職員採用試験[150万円][人委]

新) 第二新卒等正規雇用強化事業[1,000万円][商労]
「社会人インターンシップ」等の実施や合同企業説明会の開催

県民の活躍と働き方改革の推進

新) 人材育成・職場環境改善リーダー確保事業[9,500万円][商労]
人材育成等のマネジメントを担う人材を正規雇用する企業に対する助成制度の創設

新) 中小企業向けクラウド化等普及支援事業 [140万円]
中小企業のクラウド化やテレワーク導入に向けた体験セミナーの開催

新) 中小企業の働き方改革モデル取組事例創出事業 [1,200万円](再掲)

新) 創業支援施設・UIターン住居等整備[8億2,326万円] [商労]

「2017建築甲子園」で優勝した富山工業高校生のリノベーションプランをもとに、富山市蓮町の旧県職員住宅を創業支援施設及びUIターン者等向け共同住宅に改修

・ **移住支援金の交付・PR[7,380万円]**
東京23区からの移住者に対し国・市町村と連携し支援金を交付

〔単身世帯60万円(40世帯分)
2人以上世帯100万円交付(55世帯分)〕

<国の要件緩和>

対象者: 東京23区に連続5年在住または通勤 → 通算5年

企業: 資本金10億円未満 → 概ね50億円未満(一定要件あり)



創業支援施設等の外観イメージ

・ **移住者創業チャレンジ応援事業[1,100万円]**
東京圏からの移住者による地域課題解決に向けた創業を支援(200万円/人)

新) 「くらしたい国、富山」青年未来プロジェクトの推進[200万円]
次世代の富山を担う若者を中心としたチームを設置し、人口減少対策や移住・Uターン促進などを中心に「くらしたい国、富山」に向けたプロジェクトを推進

新) とやま移住サポーターの設置[100万円]
移住者受入に協力的な住民をサポーターとして委嘱(50名程度)し、受入体制を強化

拡) とやま移住・応援人口創出事業[250万円]
首都圏の社会人向けに、富山の地域課題を学ぶ県内フィールドワークや東京での講座を開催(受講者負担あり)

UIターン就職の促進

新) 富山再発見&就活セミナー in 日本橋とやま館事業[100万円]
首都圏の大学生が県内企業の経営者と富山の食文化や企業を学ぶセミナーを開催

**新) 富山くらし・しごと支援センター
名古屋オフィスの設置[570万円]・大阪オフィスの機能強化[200万円]**
県職員を週1回ペースで名古屋・大阪に派遣し、中京圏・関西圏の大学との連携を強化するほか、定期移住相談会や就職イベントを開催

拡) Tターン推進強化事業 [800万円][商労]
企業見学バスツアーや保護者向け就職セミナー等を実施

新) 富山サテライトオフィス誘致事業 [800万円]
県、市町村、民間が連携した誘致専門チームの設置と、県内進出企業のサテライトオフィス整備への支援



移住・Uターン女子トーク

安全・安心なまちづくり ～「日本一の安全・安心な県」をめざして～

防犯対策の推進

安全なまちづくり条例(H17.4施行)

地区安全なまちづくり推進センター
H16 0か所⇒R元 219か所
青パト車両数
H16 13台 ⇒R元 592台

【新】警察機動センター(仮称)新築整備事業 1億1,300万円(警察)

事案発生時の初動対応力・機動力の確保、警察署への支援強化

【拡】交番・駐在所の安全対策事業 3,963万円(警察)

交番相談員の増員、仕切り板・ガードパイプ設置

【新】「ホットスポット・パトロール」普及促進事業 130万円

犯罪等が起きやすいホットスポットに着目した防犯パトロール活動をモデル地区(4か所)で実施

富山南警察署(仮称)整備事業 23億9,061万円(警察)



富山南警察署(仮称)イメージ図



防犯パトロール



交通安全対策など「くらしの安全の確保」

【新】交通安全教育強化事業 3,200万円(警察)

交通安全教育車を新規配備し交通安全教育を実施

交通安全
教育車



【拡】信号機の新設・改良(LED化)[一部2月補正] 1億5,000万円(警察)

通学路等の安全確保を図るため、新設・増灯(計4基)、改良(LED化、26基)を実施

【新】農業用水路事故防止対策 3億2,300万円(農林)

全国に先駆けて県が策定した安全対策ガイドラインに基づき、モデル地区(33か所)において事故防止対策を推進



R2.2江藤農林水産大臣
への要望

【拡】クマ対策推進事業補助金 600万円(生環)

クマ出没に伴う人身被害防除のための捕獲に係る謝金を新設

【新】クマ被害防止緊急対策事業補助金 375万円(生環)

クマ出没に伴う人身被害の未然防止のための環境整備経費への支援

【新】消費生活センター高岡支所の移転 1,360万円(生環)

高岡総合庁舎5階から高岡駅前の御旅屋セリオ5階に移転し、相談スペース等を拡充

消防力・地域防災力の向上等

地域防災力の向上

自主防災組織の組織率

H21.4 57.2% ⇒ R2.1 86.4%

【新】風水害に対する地域防災力向上事業 400万円

風水害防災ハンドブックの作成やマイタイムライン普及の防災イベントの開催

危機管理体制の充実

【拡】防災・危機管理センター(仮称)棟の建設 21億9,482万円(経管)

【新】災害対応力緊急強化事業 790万円

県災害対策本部の業務手順書や対応ワークフローの作成、実務研修の実施、国研修への参加など



防災・危機管理センター(仮称)
イメージ図

【拡】原子力災害対策事業 2億9,502万円

避難退域時検査場(氷見運動公園)の整備
放射線監視体制の強化、原子力防災訓練の実施等

【新】弥陀ヶ原火山防災訓練の実施 200万円

【新】災害時受援計画に基づく
県物資拠点活用訓練の実施 275万円



県庁内保育所イメージ図

【新】厚生センター非常用自家発電装置整備事業 2億5,650万円(厚生)

災害時において保健医療活動を担う県内7か所の厚生センター・支所に整備

災害に強い県土づくり

橋りょうや海岸保全施設・港湾施設等の耐震化 8億9,920万円(土木)

冬期の道路交通の確保[一部2月補正] 46億5,700万円(土木)

消雪施設の設置、除雪機械の更新、除雪など

木造住宅の耐震改修への支援等(R①～上限:60→100万円) 8,100万円(土木)

民間の大規模建築物の耐震改修への支援 3,500万円(土木)

対象:耐震診断が義務付けられた不特定多数利用施設(S56.5以前、5,000㎡以上)
(上限:51,200円/㎡。国33.3%、県5.75%、市町村5.75%、事業者55.2%)

中小企業の振興とチャレンジの支援、中心市街地・商店街の活性化

◆ 中小・小規模企業の活性化支援

● 創業・新分野進出への支援

新 創業支援施設・UIターン住居等整備事業 (8億2,326万円) (再掲)

拡 とやまスタートアッププログラムin東京事業 ※(600万円)

首都圏からの移住創業希望者向けの起業家育成プログラムを実施
拡 とやま起業未来塾事業 (2,252万円)
 クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、最終発表入賞プラン(3件)の事業資金を募集

新 若者・女性等スタートアップ支援事業 ※(1,700万円)

若者・女性による斬新なビジネスプランや「とやま起業未来塾」「とやまスタートアッププログラム」の修了生による優れたビジネスプランの実施を支援
 【補助率】1/2 【上限額】卸小売サービス業等 100万円(知事特認150万円)
 製造業・建設業 200万円(知事特認300万円)

・ **創業・ベンチャー挑戦応援事業 (700万円)**

● 事業承継の支援

新 事業承継時に経営者保証を不要とする融資制度の創設

【融資対象】経営者保証コーディネーターの確認を受けて事業承継特別保証制度を利用する中小企業

【限度額】8,000万円(設備投資に伴い建物(土地)を取得する場合1億円)

【融資利率】年1.20%以内 【融資期間】10年以内 【保証料率】年0.10%~年0.58%

拡 事業承継後継者育成事業 ※(100万円)

経営者や後継予定者を対象に講座を開催

● 国内外販路開拓への支援

新 次世代自動車ビジネス基盤向上事業 ※(240万円)

大手自動車メーカーに県内企業の技術力等をアピールする展示商談会を開催

新 T-Messe2021富山県ものづくり総合見本市の開催準備 ※(750万円) (再掲)

● 小規模企業の振興

拡 小規模事業者支援推進のための補助事業 (2,330万円)

小規模事業者が商工会・商工会議所と連携して実施する販路開拓等を支援

新 事業継続力強化のための支援事業 (230万円)

小規模事業者の防災・減災対策を推進するため、商工会議所や商工会等が実施する事業を支援

◆ 中小企業の資金繰り支援

新 防災・減災対策促進資金の創設 6億円(新規融資枠15億円)

【融資対象】自然災害の発生に備え、施設の整備や防災・減災設備の導入等を行う中小企業者(BCP策定企業または事業継続力強化計画認定企業)

【限度額】1億円(うち運転資金1,000万円) 【融資利率】年1.15%以内

【融資期間】設備15年以内、運転7年以内

拡 新成長産業育成支援資金の拡充 10億円(新規融資枠25億円)

【融資対象】ヘルスケアに係る装置・部品等の製造業及び5Gに関連する研究開発・製造業を追加

【限度額】1億円(うち運転資金1,000万円) 【融資利率】年1.10%以内

【融資期間】設備10年以内、運転5年以内

拡 創業支援資金の保証料率引下げ措置の延長(R2.3.31→R3.3.31まで)

創業、経営革新等を伴う事業承継時の保証料率を年0.2%引下げ

創業者枠:年0.6%→年0.4%

事業承継支援枠:年0.7%→年0.5%(経営革新等に取り組む場合)

◆ 中心市街地・商店街の活性化

新 まちのなりわい継業等の支援 ※(530万円)

後継者不足の商店等において職業体験を実施し、継業を支援

新 とやままちなか活性化プラン応援事業 (220万円)

クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、まちなかの価値・魅力を高める事業プランを支援

・ **認定中心市街地(富山市・高岡市)支援事業 (1,500万円)**

認定中心市街地活性化基本計画に記載された賑わいづくり等の取組みを支援

・ **がんばる商店街支援事業 (900万円)**

空き店舗対策など各地域の商店街(認定中心市街地除く)の活性化の取組みを支援



「日本海高岡なべ祭り」の期間中に御旅屋セリオ内に屋内おもちゃ広場を設置(R1認定)

◆ 伝統工芸品産業の振興

新 とやま伝統工芸ジュエリープロジェクト支援事業 ※(410万円)

ジュエリーメーカーとのコラボによる伝統技術を付加した新商品開発を支援

新 富山県の「匠」展(仮称)開催事業 ※(920万円)

中国北京市内において伝統工芸品の企画展等を開催



アクセサリ商品(例:高岡漆器の螺鈿ブローチ)をジュエリー商品へ

金額に※印付きの事業は地方創生推進交付金活用所管部局名のない事業は、商工労働部所管事業

新たな成長産業の育成と地方大学の振興

【オープンイノベーションの推進による付加価値や新事業の創出】

【産学官連携による地方大学の振興】

○「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造 コンソーシアム

⑧ 地方大学・地域産業創生くすりコンソーシ アム推進事業(10億1,660万円)【厚生】

医薬品産業の振興や専門人材の育成・確保を推進

世界水準の研究開発



ナノボソム技術により、
眼球注射剤から点眼剤へ

新たな作用メカニズムに
基づくすい臓がん治療薬

鼻から投与する
インフルエンザワクチン

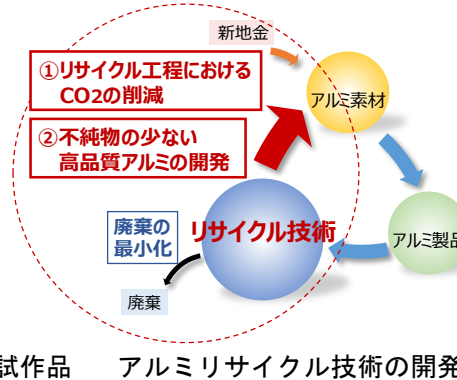
○とやまアルミコンソーシアム

⑧ アルミ産業成長力強化戦略推進事業※(5,780万円)

アルミの特性を活かした研究プロジェクトに加え、新たにアルミリサイクル技術の開発、次世代人材の育成を推進



研究プロジェクト例
・アルミ製軽量容器の試作品



アルミリサイクル技術の開発

○とやまヘルスケアコンソーシアム

⑧ ヘルスケア産業育成創出事業※(4,870万円)

利用者視点に基づく新製品開発など、ヘルスケア産業分野への参入を支援



フォースプレート型
トレッドミル



足裏の荷重分布を測る
シート状圧力センサ

⑧ とやま医薬品開発支援プロジェクト事業※(5,600万円)【厚生】

バイオ医薬品に加え、中分子医薬品(脊髄性筋萎縮症治療薬スピルナザなど)を助成対象テーマに追加するほか、新たに「チャレンジ」要素の強い探索研究を支援

⑨ 高機能新素材・製品開発プラットフォーム整備事業[2月補正] (3,300万円)

複合材料など高機能な新素材の開発を支援する研究設備を導入

・とやま成長産業創造プロジェクト推進事業※(3,100万円)

新世紀産業機構において、次世代モビリティやロボティクス等の成長産業分野に関する研究会を開催し、新技術・新製品開発の取組みを支援

・産学官協働ローカルイノベーション創出事業※(1,200万円)

成長産業分野に関するマルチマテリアル開発技術やデジタルデータ活用などの研究プロジェクトを推進し、県内企業の技術開発や人材育成を支援



研究会活動の様子

【デザインによる高付加価値化】

⑨ とやまデザインビジネススクールモデル事業※(300万円)

県内企業の経営者層を対象に、第一線で活躍する経営者等を講師としてデザインを活用して新たな価値を創出する経営手法に関する講座を開催

⑨ とやまのお土産新ブランド創出事業※(300万円)

北陸新幹線敦賀開業を見据え、新たなお土産ブランド(美のこわけ)の開発・商品化を推進

⑨ 伝統工芸技術デジタルアーカイブ化検討事業※(100万円)

伝統工芸の技法の復元・承継や新商品開発を支援するため、総合デザインセンターに産学官のWGを設置し、工芸作品のデジタルアーカイブの手法を検討

・クリエイティブ・デザイン・ハブプロジェクト推進事業※(225万円)

【ものづくり産業の活性化にむけた展示・交流機能の充実】

⑨ 高岡テクノドーム機能拡充等事業 (1億250万円)

北陸新幹線の敦賀開業を見据え、県西部地域の拠点施設である高岡テクノドーム別館新設等に係る調査、設計を実施



高岡テクノドーム

金額に※印付きの事業は地方創生推進交付金活用
所管部局名のない事業は、商工労働部所管事業

活力ある安全な県土づくりのための社会資本の整備

国のR2当初公共事業関係費はR1比▲0.8%

2月補正を含めた14か月予算では▲0.8%と昨年度と同程度を確保。引き続き、国の3か年緊急対策などを活用し、社会資本整備を推進。

国予算においてR1と比してR2は直轄事業の比率が補助事業より上昇したため県予算計上額は減に

◆公共・直轄事業 686億円(R1比▲3.5%、H30比+13.4%)

◆県単独建設事業 140億円(R1比▲4.7%、H30比+1.4%)

14ヶ月予算 864億円(R1比▲0.8%、H30比+15.4%)

158億円(R1比▲4.7%、H30比+1.5%)

国の3か年緊急対策前との比較

活力あふれる地域づくり

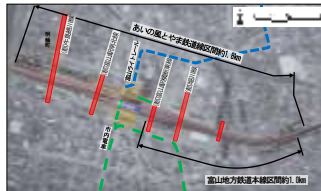
□直轄事業負担金 [一部2月補正] 148.5億円の一部
富山高山連絡道路(猪谷楡原道路、大沢野富山南道路)
国道8号(豊田新屋立体、入善黒部バイパス、
倶利伽羅防災、六家立体)



至 富山市街
至 高山市
国道41号(現道)
混雑状況(大沢野地区)

伏木富山港(新湊地区中央岸壁の大水深化、
富山地区2号岸壁の耐震化) など

□富山駅付近連続立体交差事業 15.7億円



富山駅付近連続
立体交差事業

□道路ネットワークの整備 [一部2月補正] 104.9億円

・都市、地域の骨格となる道路

高岡環状線(高岡)、国道415号富山東バイパス(富山) など

・観光地やIC等へのアクセス道路

富山立山公園線(富立大橋)、宇奈月大沢野線(魚津)、
国道304号高宮バイパス(南砺) など

・サイクリングコースの整備

□都市基盤整備の推進 [一部2月補正] 39.2億円

・公共交通・市街地の活性化を支援する道路

(都)牛島蜷川線(富山)、(都)戸出東西中央線(高岡)

(都)高岡伏木線(高岡) など

・土地区画整理事業 泊駅南地区(朝日) など

□中山間振興・地方創生推進基盤整備事業 13.5億円

定住半定住を推進する地域や中山間地域等の

道路整備、農林業生産活動等のための基盤整備

□市街地再開発事業 4.2億円

中央通りD北地区(富山)、高岡駅前東地区(高岡)

□伏木富山港・魚津港の整備[一部2月補正] 17.2億円

(臨)伏木外港1号線(高岡)、富岩・住友運河(富山)

魚津港(南地区)の老朽化対策 など



至 国道8号 (渋滞状況)
至 富山市

県道高岡環状線
(二塚交差点)(高岡)



サイクリングコース
整備状況(入善)

安全・安心な暮らしづくり

□直轄事業負担金 [一部2月補正] 148.5億円の一部
神通川等の河川改修、利賀ダムの建設、立山砂防等の整備促進

□災害につよく強靱な県土づくりの推進

[一部2月補正]153.1億円

・治水 地久子川(高岡)、鴨川(魚津)、山田川(富山)など

・海岸 富山海岸(富山)、宮崎海岸(朝日) など

・砂防 上坂谷(上市) など

・橋りょうや下水道施設等の地震・津波対策の推進 9.0億円

・河川の護岸工や浚渫、用排水路の改修などの
災害の未然防止対策 7.0億円

□安全・安心のみちづくり [一部2月補正] 130.2億円

通学路等における歩道の整備、道路除雪など

砺波小矢部線(小矢部)、小杉桐山新線(入善)

□インフラ老朽化対策の推進 [一部2月補正] 194.1億円

・橋梁や河川管理施設等の更新、長寿命化対策

富山魚津線(常願寺川今川橋の架け替え)(富山)など

□農地防災事業 [一部2月補正] 65.3億円

国営附帯県営農地防災事業(庄川左岸地区)や

ため池など防災・減災対策の推進

□治山事業 [一部2月補正] 35.5億円

流木防止総合対策(南砺)

重要インフラ保全のための荒廃山地の復旧、予防(富山) など

□林道整備事業 [一部2月補正] 16.1億円

山のみち 羽入・明日線(入善) など



地久子川(高岡)
(H24.7豪雨による浸水)



今川橋の損傷(富山)



国営附帯県営農地防災(庄川左岸地区)
改修後の狐島用水路(砺波)



重要インフラ(発電所)
の保全(砺波)

※赤字:県事業、青字:直轄事業で、R2に整備が大きく進むもの

北陸新幹線の敦賀開業に向けた対策



新幹線延伸機運の醸成

- ① 新幹線延伸効果促進事業 ※〔400万円〕
新幹線延伸に向けた賑わいづくりや新幹線沿線におけるPR活動等を支援

- ① JRと連携した富山の食の魅力PR事業の実施 ※〔1,900万円〕【観交】
北陸新幹線5周年を記念し、JR各社と連携して関西圏・首都圏で食の魅力をPR

基本戦略1 魅力あるまちづくり・地域づくり

- ① 武道館機能を有する多目的施設整備〔1億700万円〕
- ① 高岡テクノドーム機能拡充等事業〔1億250万円〕【商労】
- ① 令和新時代まちづくり推進事業〔200万円〕
市町村が多様な主体と連携して実施する新幹線敦賀開業を踏まえた取り組みや中山間地域対策の取り組み等を支援(初年度は審査、R3～5年度で1地域あたり最大4,400万円を補助)
- ① とやまのブランド戦略策定事業 ※〔500万円〕【経管】
富山県の統一したブランドイメージを確立し、県の魅力を効果的にPRするための戦略を策定
- ① 関西圏とやまの魅力発信調査 ※〔100万円〕
富山の魅力を関西圏で効果的に発信するあり方について調査・検討
- ① とやまのお土産新ブランド創出事業 ※〔300万円〕【商労】



基本戦略3 選ばれ続ける観光地づくり - 海のあるスイスを目指して -

- ① 新たな観光振興戦略プランの策定 ※〔840万円〕【観交】
北陸新幹線開業後の現状等を踏まえ今後の方向性を検討、新プランを策定
- ① ロープウェイ整備調査への支援 ※〔4,200万円〕【観交】
- ① 観光地域づくりの推進 (DMO) ※〔7,128万円〕【観交】
ICTを活用した旅行者データの収集・分析、観光資源の磨き上げ等のほか、新たに欧米豪向け着地型旅行商品の販売を開始
- ① 産業観光の魅力向上 ※〔650万円〕【観交】
一定の集客が見込める企業紹介施設の支援を拡充(上限50万円・1/2補助→上限200万円・1/3補助)
- ① 2020夏期首都圏誘客キャンペーンの実施 ※〔560万円〕【観交】
- ① 富山の未来創生に向けたコンテンツ調査 ※〔200万円〕
本県の自然や歴史・伝統を活かした新たなツーリズムプログラム開発への支援等
- ① 北陸三県・JRと連携した広域観光の促進 ※〔1,000万円〕【観交】



ロープウェイイメージ

基本戦略2 ものづくり産業の拠点化

- ① IoT・AI・5G活用生産性向上推進事業 ※〔1億270万円〕【商労】
県内企業の導入・活用段階に応じ、IoT、AIの導入、人材育成等を伴走型で支援
- ① 地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業〔10億1,660万円〕【厚生】
- ① アルミ産業成長力強化戦略推進事業 ※〔5,780万円〕【商労】
- ① ヘルスケア産業育成創出事業 ※〔4,870万円〕【商労】
- ① T-Messe2021富山県ものづくり総合見本市の開催準備 ※〔750万円〕【商労】
- ① とやま伝統工芸ジュエリープロジェクト支援事業 ※〔410万円〕【商労】
ジュエリーメーカーとのコラボによる伝統技術を付加した新商品開発を支援
- ① 企業立地助成金〔6億6,500万円〕【商労】
製造業、デザイン業等の新規立地・増設に対し助成金交付(対象経費の拡大)



サマースクールでの
バイオ医薬品実習

基本戦略4 移住・定住の促進、応援人口の創出・拡大

- ① 富山サテライトオフィス誘致事業 ※〔800万円〕
県、市町村、民間が連携した誘致専門チームの設置、県内進出企業への支援
- ① とやまぐらし・しごと支援センター ※
名古屋オフィスの設置〔570万円〕・大阪オフィスの機能強化〔200万円〕
- ① 「くらしたい国、富山」青年未来プロジェクトの推進 ※〔200万円〕
次世代の富山を担う若者を中心に「くらしたい国、富山」に向けたプロジェクトを推進
- ① とやま移住・応援人口創出事業 ※〔250万円〕
首都圏の社会人向けに、富山の地域課題を学ぶ県内フィールドワーク等を開催
- ① 富山のMICEの魅力発信 ※〔400万円〕【観交】
文化施設等のユニークバリエーションを紹介するガイドブックやプロモーション動画を作成し、国際会議や展示会などの本県誘致を促進
- ① とやま移住サポーターの設置 ※〔100万円〕 移住セミナー



地域公共交通ネットワークの充実と富山きときと空港の利用促進

地域公共交通ネットワークの充実



交通環境の整備とネットワークの充実

(拡) 中山間地域の交通網の維持活性化に対する支援 (700万円)
地域(集落等)が連携して行う輸送サービスの創出(県内2地区)等を新たに支援するほか、引き続き市町村が行う中山間地域の交通網再編を支援

(拡) 富山地方鉄道の安全対策や、万葉線のICカード導入準備等に対する支援 (1億5,008万円)

(新) 城端線・氷見線活性化調査等事業 (1,000万円)
JR西日本から提案のあったLRT化など活性化方策について検討・調査等

(新) 富山県公共交通モードプラットフォーム創設事業 (100万円)
県内の公共交通機関が提供する共通ICT切符の導入(MaaS)に向けた検討

(新) 城端線・氷見線車両のラッピングに対する支援 (327万円)

- ・ 城端線・氷見線の増便試行に対する支援 (3,327万円)
- ・ バス路線の維持に対する支援 (2億8,647万円)
市町村を跨ぐ幹線路線への支援(1億2,473万円(国1/2、県1/2))
市町村運行バスへの支援(7,984万円(補助率1/2又は1/3))等



あいの風とやま鉄道の利用促進と経営の安定化

・ 新駅(富山～東富山間)設置支援事業 (2億1,157万円)
東西の駅舎や跨線橋、EVを設置(参考:東口広場は富山市が整備予定)

(新) 通学定期乗車券の購入支援 (110万円)
JRの乗継割引の終了に伴う激変緩和として、市が行う助成を支援

・ 経営安定基金補助金 (9億8,900万円)
運賃値上げ抑制等に伴う減収補填(3億2,500万円)、新型車両・ラッセル車両導入(5億3,400万円)のほか、滑川駅構内のEV設置(900万円)に対する支援など

富山きときと空港の利用促進



羽田便・札幌便の利用促進

(新) 富山ー羽田便ビジネス利用促進事業 (280万円)
搭乗率の低い平日1・4便のビジネス利用を促すキャンペーン(ANAのHPでの広告・期間中利用者への物産品等の抽選プレゼント)の実施など

(新) オンライン旅行会社連携・冬季国内線利用促進事業 (910万円)
Webを活用し、利用が見込める層などにターゲットを絞った本県へのプロモーションを効果的に実施(R2.11月～R3.2月)し、冬季の搭乗率の向上を促進

(新) 富山ー札幌便冬季利用促進事業 (360万円)
北海道発の旅行商品(10人以上)造成に助成し、搭乗率の向上を促進



国際線の利用促進

(新) 富山滞在型観光創出事業 (1,440万円)
国際路線を利用し、本県を拠点に東京等を周遊する外国人旅行者に対して富山空港内で利用できるクーポン券(8,888円分)を助成

(新) 上海便15周年記念事業 (750万円)
就航15周年を記念し、県内旅行会社等を対象にした上海便利用の乗継ファミツアー(東南アジア方面)による旅行商品造成などを実施

アクセス改善等による空港の新たな魅力の創出

(新) 富山きときと空港と飛騨・高山、世界遺産エリアとのアクセス改善 (1,000万円)
富山駅-空港-高山・白川郷バス(1日2往復)の運行支援、台湾FIT向けの富山駅-空港-八尾バス(1日1往復)の実証運行

(新) 西日本方面へのトライアル的なチャーター運航への支援 (300万円)

(新) ビジネスジェット利用促進事業 (120万円)
ビジネスジェット運航支援業者(10社程度)を招聘し、空港や県内観光地等の魅力をPR

・ 富山きときと空港乗合タクシー運行事業 (700万円)
空港と高岡・砺波・魚津を結ぶ乗合タクシー(月約114台)の運行支援
(例:砺波-空港間:標準料金約10,000円(1名利用時:利用者3,500円、県4,700円、事業者1,800円))

伏木富山港の活性化と環日本海物流・国際経済交流の促進

現状

- 国際定期航路 月35便
(コンテナ船航路22便、RORO船航路13便) (R2.1現在)
- 国際コンテナ取扱個数 R1 75,529TEU

- アジア進出企業: H13 141事業所 → R1 600事業所(18年間で4.8倍)
うち、東南アジア(H13→R1) タイ :17→82(4.8倍)
ベトナム : 2→37(18.5倍)
インドネシア: 8→31(3.9倍)

港湾機能の強化

伏木富山港の整備促進(36億1,950万円の一部)[土木]

〈直轄〉11億8,900万円 〈公共〉17億2,400万円 〈県単〉6億7,300万円 〈特別会計〉3,350万円

- 新湊地区 中央岸壁の大水深化〈直轄〉(10→14m、5万トン級の船が2隻接岸可能に)
- 伏木地区 伏木外港1号線の整備
- 富山地区 2号岸壁の耐震化〈直轄〉、機能強化方策の調査・検討



新湊地区(中央岸壁)



伏木地区



富山地区

【新】国際物流ターミナル

ガントリークレーンの更新
(設計費 1,900万円)[土木]
※更新概算費 19億円



更新するクレーン(H3製造)

国際物流ターミナル ガントリークレーン

【新】伏木外港の野積場拡張

(設計費 1,450万円)[土木]
※拡張面積2ha、整備概算費3億4,000万円



拡張箇所

伏木地区(伏木外港)

伏木富山港の物流活性化

【拡】伏木富山港利用促進事業 (3,223万円)

(新)国内輸送費支援制度の創設(400万円)

伏木富山港を利用する荷主企業に対し、新規・シフト貨物を対象に国内輸送費を助成(補助率1/3、上限額50万円)

- ・荷主企業奨励金
- ・伏木富山港拠点化輸送実験利用補助金
- ・船社助成金
- ・利用促進セミナー、伏木富山港の視察会等を通じたPR活動



伏木富山港の現地視察会(富山新港)

【新】伏木富山港ポートセールス体制強化事業 (300万円)

荷主企業や関係団体等と連携し、ポートセールス体制を充実・強化

【新】SLBの利用促進によるロシア物流の活性化 (1,930万円)

- ・SLB(シベリア・ランド・ブリッジ)を活用した貨物輸送実験
- ・SLB戦略アドバイザー(仮称)の配置
- ・国内輸送費助成(補助率1/2、上限50万円)の新設 等

【新】県産農林水産物輸出実証事業 (250万円)[農林]

今後、香港への輸出拡大が見込まれる品目等について、伏木富山港から香港への輸出実証を実施

国際経済交流の促進

【新】ベトナム経済訪問団の派遣 ※(860万円)

県内企業の海外進出ニーズの高いベトナムに経済訪問団を派遣し、経済交流を促進

・ASEAN諸国等との経済交流促進事業 ※(200万円)

【新】T-Messe2021富山県ものづくり総合見本市の開催準備 ※(750万円)

・海外ビジネスサポートデスクの設置(437万円)

企業立地の推進

【拡】企業立地助成金 (6億6,500万円)

〈制度変更〉製造業における助成対象経費を拡大
(生産施設のみ → 事業の用に供されるすべての固定資産)

- ・とやま企業立地セミナー開催事業(215万円)
- ・企業誘致強化戦略推進事業(147万円)
工場適地調査の実施(富山県内の空き工場・遊休地調査)

金額に※印付きの事業は地方創生推進交付金活用
所管部局名のない事業は、商工労働部所管事業



SDGsの推進と「環境・エネルギー先端県とやま」の実現



2019年7月1日「SDGs未来都市」に選定

SDGsの普及啓発・ステークホルダーとの連携等

(新)県民総参加のSDGs普及啓発事業(430万円)

フォーラムの開催、市町村が連携して取り組む普及啓発事業や企業・団体等のセミナー開催への支援

(新)SDGs理解促進・環境教育推進事業(100万円)【生環】

企業経営層を対象としたトップセミナー等の開催

(新)とやまの清らかな水環境の保全活動の促進(250万円)【生環】

活動体験会等を実施し、若者・子どもの水環境保全活動への参加を促進

(新)レジ袋無料配布廃止の全国展開記念イベント開催(150万円)【生環】

本県発の取組みの全国展開を記念し、講演会・小型マイバッグ作成により啓発

(新)気候変動適応センターの設置・環境教育拠点化(568万円)【生環】

気候変動による影響や適応策に関する調査研究を実施
環境に関する展示、体験・実験施設を整備(環境科学センター)

(拡)北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業(530万円)【生環】

北東アジア地域の青少年による意見交換や環境保全活動を実施(県内開催)

・エシカル消費啓発推進事業(100万円)【生環】

人や社会・環境に配慮した消費行動「エシカル消費」の普及・啓発



R1.7未来都市
認定証授与式



R2.1小泉環境大臣への要望



金額に※印付きの事業は地方創生推進交付金活用

SDGs推進に向けた取組み(環境・経済・社会の三方面から統合的に推進)

環境



紙パウダーと合成樹脂を混合した新素材「マップカ」容器



(新)使い捨てプラスチック削減促進事業(300万円)【生環】

プラスチック製からバイオマスプラスチック製への転換時のかかり増し経費に対する1/2補助

(拡)海岸漂着物対策推進事業(9,629万円)【生環・土木】

バイオマスプラ製容器



拾ったごみの量等を競う「スポーツごみ拾い大会」のモデル開催、海岸漂着物の実態調査、回収・処理等

(拡)漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業(1,097万円)【生環】

調査活動体験等を通じた発生抑制促進、マイクロプラスチック調査手法を開発し国際標準化を目指す

(新)「とやまのエコフィード」利用畜産物ブランド化推進事業(390万円)【農林】

酒粕の牛への給与実証を行い、エコフィード活用と県産牛肉のブランド化を推進

(拡)食品ロス・食品廃棄物削減対策事業(1,728万円)【農林】

全国大会の開催や「食べきり3015運動」の啓発資材の作成など

経済



サステイナブルな漁法
ベニズワイガニ漁の「かにかご」



(新)称名滝へのグリーンスローモビリティ導入の支援

【一部2月補正】(1,950万円)【親交】

10月導入予定の称名平～飛龍橋間のバリアフリー車両の購入等を支援

(拡)県営水力発電所の大規模改良(8,600万円)【企業】

固定価格買取制度を活用し、再生可能エネルギーの利活用を図る

・立山温泉地域での地熱資源開発(2,000万円)【企業】

既存の調査井(平成30年度から2ヶ年で1,600メートル掘削)を活用した追加調査を実施

(拡)サステイナブルな「富山のさかな」普及事業(173万円)【農林】

漁業者等による水産エコラベル認証の取得を支援

社会



(拡)プラスチックトレイ削減・転換推進事業(280万円)【生環】

スーパー等におけるノートレイや紙トレイなどへの転換を目指し実証モデル事業を実施

(拡)持続的生産強化GAP拡大事業(770万円)【農林】

GAP指導者の活動支援等により、第三者認証GAPの取得を推進

第三者認証取得状況 (R2.2時点)

グローバルGAP	アジアGAP	JGAP	計
2	15	28	45

(所管部局のない事業は、総合政策局所管事業)

豊かで魅力ある中山間地域の実現

～ 中山間地域における持続可能な地域社会の形成の実現に向けて ～

地域のコミュニティの再生、人口の安定及び地域の保全（条例6条2項1号）

（新）中山間地域の魅力発信・応援事業（200万円）[※]

県内の地域づくり関係者のネットワーク化促進と、きらりと光る地域の動画でのPR

（新）中山間地域活性化・NPO出前セミナーの開催（100万円）[※]

地域資源を活用した事業化や地域運営組織の法人化を進める出前セミナーを開催

（新）中山間地域のにぎわい創出モデル事業（700万円）[※]

移住者の起業等を支援する中間支援組織がある地域をモデル地域として支援
ソブ事業(移住経費等):50万円定額支援、ハート事業(ゲストハウス設置等):1/2、上限100万円支援

（新）令和新时代まちづくり推進事業（200万円）（再掲）

市町村が多様な主体と連携し実施する新幹線敦賀開業を踏まえた取組みや中山間地域対策の取組み等を支援
(初年度は審査、R3～5年度で1地域あたり最大4,400万円を補助)



山ぶどうワインの開発

（拡）中山間地域チャレンジ支援事業（550万円）[※]

地域資源を活かした特産品開発等の取組みを支援
(地域が策定したまちづくり計画に沿った活動を助成対象に追加)

（新）移住サポーターの設置（100万円）（再掲）[※]

（拡）とやま移住・応援人口創出事業（250万円）（再掲）[※]

（拡）集落支援の推進（540万円）[※]

地域コンシェルジュ(R1配置1名)による、講師派遣のコーディネートやSNSによる情報発信等

・ 中山間地域におけるコミュニティ活性化の促進（350万円）[※]

地域のまちづくり計画策定に向けた住民の話し合い(合意形成)に係る活動支援



話し合いの様子
(片貝地域)

・ 中山間地域未来創生ミーティングの開催（200万円）[※]

中山間地域振興策等に関する県民との意見交換

地域経済の活性化促進、若者等の所得の増大（条例6条2項2号）

（拡）中山間地域等直接支払交付金（8億5,100万円）【農林】

指定棚田地域を含む中山間地域において、集落の農業生産活動体制の維持・強化等を推進
(指定棚田地域振興活動加算:10千円/10a(2億4,000万円))

（拡）農業の経営継承の推進（1,280万円）【農林】[※]

新規就農者の確保・育成(集落営農組織のスマート農業機械等の導入支援など)

（新）中山間農業者所得向上モデル事業（2,300万円）【農林】

中山間農地の特色を活かして農業所得の向上を目指すモデル農業者の育成

（拡）とやま型スマート農業推進事業（4,700万円）【農林】

ICTやロボット等を活用したスマート農業技術の導入効果等の実証



農業用ドローン

（新）中山間農地の有効活用の推進（610万円）【農林】

保全管理農地の活用や高収益作物の導入、除草作業の機械化体系実証

（新）中山間地域フィールドスタディ政策協働推進事業（130万円）[※]

東京大学の大学生・大学院生が地域課題の解決に向けた政策を検討するインターンシッププログラム(長期・短期)を実施



政策提言発表会の様子

（拡）とやまの「ふるさとの宝」の発掘支援（940万円）[※]

地域資源を活用した農産加工品・工芸品を発掘し、販売・物流面などを支援
(R1ドライブいちご[氷見]、山ぶどうワイン[南砺]、ヒスイ洋かん[朝日]など21事業者29品)

生活に必要不可欠なサービスの確保（条例6条2項3号）

（拡）中山間地域における交通網の維持活性化に対する支援（700万円）【親交】（再掲）[※]

地域(NPO等)が連携して行う自主運行バスなどの輸送サービスの創出(県内2地区)等を新たに支援するほか、市町村が行う中山間地域の交通網再編を引き続き支援

生産性の高い農林水産業と魅力ある農山漁村の実現

生産力を高める

新とやまスマート農業拠点(仮称)施設の整備 【2月補正】4億4,611万円
農業機械研修センターの機能を大幅に強化し、スマート農業の普及や人材育成を推進

拡とやま型スマート農業推進事業 4,700万円
ICTやロボット等を活用したスマート農業技術の導入効果等の実証

スマート農機等



ロボットトラクタ 直進キープ田植え機 ドローン 除草ロボット 自動給水栓 収量コンバイン

拡大規模施設園芸整備費業 2億9,820万円
あんぽ柿共同加工施設や広域品目集出荷施設(にんじん)の整備を支援

拡広域的野菜転換促進事業 8,000万円
たまねぎやにんじんの広域産地化に向けた機械・施設の導入を支援

新チューリップ球根ネット栽培実証普及事業 ※380万円
ネット栽培体系の普及に向け、県内4地区で栽培技術を実証

拡林業成長産業化推進事業 【一部2月補正】6億1,993万円
県産材の安定供給のための路網整備、林業機械の導入等を支援

拡森林経営管理総合支援事業 7,326万円
森林環境譲与税を活用し、航空レーザー計測による森林資源情報の整備等を実施

新氷見栽培漁業センター改修工事設計事業 ※7,800万円
老朽化した施設の改修整備のための基本設計・実施設計

拡キジハタ栽培漁業加速化事業 ※1,052万円
新施設でキジハタ種苗を増産し、事業化に向けた研究を加速化



たまねぎの収穫機



高性能林業機械による伐採作業



氷見栽培漁業センター

担い手を育成する

新「次世代につなぐ集落営農」スマート農業支援事業 ※1,200万円
集落営農組織の経営継承のためのスマート農機等導入支援(4か所)

新農福連携推進事業(農林、厚生) 600万円
農福連携コーディネーターを配置し、農業経営体と福祉事業所のマッチングを実施(目標:概ね5件/年)

○とやま農業未来カレッジ事業 2,953万円

○担い手確保・経営強化支援事業 【2月補正】4億円
先進的な農業経営の確立に向け、トラクターやハウスなど機械・施設の導入を支援(要望数:20地区・20経営体)



ICTを活用した園芸ハウスの研修



機械操作演習

消費者のこころをつかむ

拡富山米新品種「富富富」戦略推進事業 1億9,270万円
関東に加えて関西や中京でのCMを核としたプロモーションや県内キャンペーン等の実施

拡「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業 ※2,008万円
新浜の活性化チャレンジ支援事業 300万円
漁業者等の水産物の高付加価値化などモデル的取組みへの支援

新「富山湾の秋の味覚」フェア開催事業 480万円
東京駅周辺の飲食店で「富山のさかな」を使用したメニューを提供

拡とやまの農林水産物輸出促進事業 ※2,760万円
香港・シンガポールに加え新たに上海の大規模食品見本市に出展するほか、香港の大手外食企業と連携した富山県産食材のPRを実施



「富富富」の先行販売会 (R1.10.3 日本橋とやま館)

活力ある農山漁村をつくる

拡鳥獣被害防止総合対策事業 【一部2月補正】3億2,514万円

拡野生イノシシ等侵入防止柵の設置 1億3,517万円
農地への侵入を防ぐための電気柵等を設置(延長:約183km)

新CSF(豚熱)緊急対策事業 7,082万円
野生イノシシの捕獲活動を支援(一頭7,000円を県単上乗せ)

拡指定管理鳥獣捕獲等事業 6,322万円【生環】
捕獲専門チームの配置(6→8チーム)、県境対策として、さらに2チームの養成を開始

○土地改良事業(県営等) 【一部2月補正】178億2,636万円

○治山・林道・森林整備事業【一部2月補正】50億3,580万円

○漁港建設事業 【一部2月補正】10億 850万円

イノシシの捕獲目標等

年度	捕獲数	生息数
R2	9,100	16,200
R3	9,440	13,200
R4	9,700	8,800
R5	9,760	2,600

農作物被害がほぼ発生していなかった時点(H18)の水準まで生息数を低下



イノシシの捕獲活動状況 ⑬

水と緑の森づくり・花と緑の地域づくり

○「水と緑の森づくり税」を活用した森づくり 4億3,708万円

拡里山再生整備事業 1億5,635万円
里山林に隣接する森林化した荒廃農地を対象区域に追加

新中央植物園 ウェルカム態勢向上事業 ※2,300万円
中央植物園の無料Wi-Fiの整備やウォーキングサインの設置



地域住民による里山林の整備

「立山黒部」世界ブランド化、「世界で最も美しい富山湾」の活用・保全の推進



「立山黒部」世界ブランド化

立山エリアの魅力向上

※
(新) ロープウェイ整備調査への支援 (4,200万円)

ロープウェイ整備に向けた地形・地質等各種調査の支援



イメージ

※
(新) 称名滝への「グリーンローモビリティ」導入の支援【一部2月補正】 (1,950万円)

10月導入予定の称名平～飛龍橋間のバリアフリー車両の購入(国1/2、県1/3、事業者1/6)等を支援



2019年8月試験走行

※
(新) 称名園地等のリフレッシュ【一部2月補正】 (7,500万円) 【生環】

称名平休憩所のリニューアルや駐車場、公衆トイレ、標識等の改修等

※
(新) 美女平・弥陀ヶ原等滞在周遊の検討 (730万円)

散策コースのブラッシュアップ等滞在周遊の具体策の調査検討



※
(拡) ライチョウ王国とやまの発信 (158万円) 【生環】

第5次ライチョウサポート隊(100名)に新たにジュニア枠(10名程度)を設定

黒部ルート一般開放・旅行商品化

※
(新) 黒部ルートの情報発信 (430万円)

旅行商品化に向けHP・パンフレットを制作しPR



上部専用軌道

※
(新) 黒部ルート等PR映像等の制作 (672万円)

魅力ある観光資源の映像等を4Kで撮影し、プロモーションや旅行商品造成に活用



※
(新) 黒部ルートのガイドカリキュラムの検討 (200万円)

ガイドを養成するカリキュラム等を検討

※
(新) 黒部ルートの携帯電話エリア化調査 (1,000万円) 【経管】

黒部ルートの携帯電話不感エリア解消に向け、電波状況等を調査

※
(拡) 黒部ルート一般開放・旅行商品化準備会議の運営 (130万円)

黒部ルートの満足度向上、宇奈月温泉街等の魅力創出等を黒部市等と検討

「世界で最も美しい富山湾」の活用・保全

魅力のブラッシュアップ

※
(拡) 富山湾岸サイクリングの推進 (725万円)

台湾宜蘭県サイクリングツアーの誘致、「富山湾岸サイクリング2020」の開催、とやまサイクルNavi(仮称)の開発等



富山湾岸サイクリング2019

※
・ サイクリングコースの整備(1億1,000万円)【土木】

宮崎海岸(朝日町)自転車専用道の整備、田園サイクリングコースの延伸(砺波市、南砺市、小矢部市への延伸)

※
(拡) 環日本海クルーズの推進 (2,730万円)

専門家と連携し、受入体制強化・船社幹部の招聘を実施するほか、プロモーション動画制作等によりクルーズ誘致を推進



MSCフレンデータ(H30.5.8寄港)

※
・ 新湊マリーナの魅力発信強化 (770万円)

県外・県内オーナー相互の交流体験ツアーの実施、中部ポートショーへの出展等

魅力の情報発信

※
(新) 湾クラブのネットワーク強化・魅力発信(400万円)

湾クラブネットワークを活用したフランスメディアの招請、国内加盟湾と連携したPR等を実施



富山宣言採択(R1.10.18)

※
(新) 湾クラブモロッコ総会への参加(310万円)

湾クラブモロッコ総会に参加し、改めて本県の多彩な魅力をアピール

富山湾の保全

※
(拡) 海岸漂着物対策推進事業(9,629万円)【生環、土木】(再掲)

拾ったごみの量等を競う「スポーツごみ拾い大会」のモデル開催、海岸漂着物の実態調査、回収・処理等



海岸清掃

※
(新) とやまの清らかな水環境の保全活動の促進(250万円)【生環】(再掲)

※
(新) 富山湾における海底堆積物の分析調査(560万円)【農林】

水深400mより浅い海域における土砂の堆積状況を調査

選ばれ続ける観光地域づくりの促進 - 海のあるスイスを目指して -



戦略的な観光地域づくり

(拡) 観光地域づくりの推進(DMO) ※ (7,128万円)

ICTを活用した旅行者データの収集・分析、県内事業者等と連携した観光資源の磨き上げ等のほか、新たに欧米豪向け着地型旅行商品の販売を開始

(新) 新たな観光振興戦略プランの策定 ※ (840万円)

北陸新幹線開業後の現状等を踏まえ今後の方向性を検討、新プランを策定

・ とやま観光未来創造塾の開講 (2,300万円)



広域観光の拠点化

(新) 富山きときと空港と飛騨・高山、世界遺産エリアとのアクセス改善 ※ (1,000万円) (再掲)

富山駅-空港-高山・白川郷バス(1日2往復)の運行支援、台湾FIT向けの富山駅-空港-八尾バス(1日1往復)の実証運行

・ 富山駅観光総合案内所の運営 ※ (1,745万円)

英・中など13言語に対応し、日本政府観光局認定の最高ランク「カテゴリー3」の案内サービスを実施

・ 北陸三県・JRと連携した広域観光の促進 (1,000万円)



富山らしい魅力創出

(拡) 環水公園でのイベント開催等による賑わい創出 ※ (2,470万円)

音楽花火やイルミネーションなど四季折々のイベントを開催し通年での賑わいを創出

(新) 結婚応援イベントin環水公園 (120万円) 【総政】

交流イベントや模擬結婚式の開催

(拡) 産業観光の魅力向上 ※ (650万円)

県内企業の産業観光の取組みを支援 (上限50万円・1/2補助→一定の集客を見込める企業紹介施設:200万円・1/3補助)

(新) 富山の未来創生に向けたコンテンツ調査 ※ (200万円) 【総政】

本県の自然や歴史・伝統を活かした新たなツーリズムプログラム開発への支援等

(新) 県立都市公園魅力向上検討調査費 ※ (500万円) 【土木】

(新) 中央植物園のウェルカム態勢向上 ※ (2,300万円) 【農林】

中央植物園の無料Wi-Fiの整備やウォーキングサインの設置



戦略的なプロモーション

(新) JRと連携した富山の食の魅力PR事業の実施 ※ (1,900万円)

北陸新幹線5周年を記念し、JR各社と連携して首都圏・関西圏で食の魅力PR

(新) 2020夏期首都圏誘客キャンペーンの実施 ※ (560万円)

大手福利厚生サービス事業者と連携し、東京オリパラ期間中に有給休暇取得を促進する首都圏企業をターゲットとした誘客キャンペーンを実施

(新) 東京2020オリパラ富山の魅力発信・交流促進in日本橋 ※ (750万円)

東京オリパラ期間に日本橋とやま館で特別企画展・体験会等を開催し、【総政】訪日外国人等に富山の伝統工芸や観光地などの魅力を発信

(拡) ロケツーリズムの推進 ※ (200万円)

富山県出身本木克英監督の映画「大(だい)コメ騒動」の県内ロケ地等をPR



国際観光の推進

(新) 東京2020オリパラ訪日外国人の誘客促進 ※ (610万円)

東京オリパラ期間中に首都圏等を訪れた外国人のスマートフォンに、本県への誘客広告を配信

(新) ANAと連携した東南アジアFIT誘客の促進 ※ (1,000万円)

ANAと連携したWEB・SNS広告配信により、航空券予約ページに誘導し誘客を促進

(新) タイFIT等誘客の促進 ※ (300万円)

タイ現地旅行博への出展による観光PR

(新) 台湾との観光交流の促進 ※ (700万円)

台湾国際旅行博出展(350万円)のほか、日台観光サミットin桃園への参加、現地旅行会社招聘

コンベンションの誘致促進

(新) 富山のMICEの魅力発信 ※ (400万円)

文化施設等のユニークベンチャーを紹介するガイドブックやプロモーション動画を作成し、国際会議や展示会などの本県誘致を促進

・ 全国的、国際的な学会等の開催支援 (2,650万円)

大規模コンベンション(千人規模)開催件数 H③13件 R①13件 R②(見込)15件

学習活動



(拡)ICT教育推進事業(1億7,448万円)[一部2月補正] ★

引き続き県立学校(14校)へ無線LANやタブレットの整備を進めるとともに、国の新たなICT教育方針(R5)までに小中学生1人1台体制を踏まえ、県立学校においては、R5年度までに教員や職業科生徒、特別支援学校(小中学部)生徒にタブレットを整備(全国においても先行的な取組み)

職業学科生徒(2,170台)	2,321万円(R5までに1人1台整備)
特別支援学校生徒(132台)	764万円(R5までに1人1台整備)
県立学校教員(790台)	2,255万円(R4までに1人1台整備)

(新)令和の魅力ある学校づくり推進事業(1,260万円) ★

新学習指導要領の円滑な実施に向けて、全県立学校で探究的な要素や最新技術を取り入れた、新時代にふさわしい学びを支援

・「社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』事業(217万円) ★

大学でのアカデミックインターンシップや普通学科生を対象とした就業体験等を実施



生徒指導・支援体制

(新)スクールロイヤーの配置(148万円)

弁護士がいじめ等の問題へ助言(年50回)を行い、法的側面から学校を支援

・ 高校スクールカウンセラーの配置(1,978万円)

各地区の拠点校(16校)に配置して、周辺校も含めた相談体制を確保

・ 高校スクールソーシャルワーカーの派遣(270万円)

拠点校(4校)に派遣して、いじめや児童虐待などの解決に努める



教員の働き方改革(多忙化解消)

(拡)高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業(1億1,019万円)

県立学校に配置(20名→53名)し、教員の負担軽減と障害者雇用を促進

(拡)部活動指導員配置促進事業(1,033万円)

県立高校に配置(20名→26名)し、教員の負担軽減と競技力を向上



(新)学校多忙化解消推進事業(715万円)

学校多忙化解消推進委員会の開催、全56校に電話自動応答システムの配備等

学校施設・設備

(拡)県立高校普通教室空調整備事業(4億5,093万円)

2か年計画で設置率100%を達成(H20 26校→R1 34校→R2 43校(100%))

(拡)県立学校施設の長寿命化改修(9,500万円)

「学校施設の長寿命化計画」に基づく改修を計画的に実施(8校で設計)

(拡)県立学校天井落下防止対策(1億457万円) [2月補正]

特別教室(1か所)や武道場(3か所)の天井落下防止対策を実施

(拡)富山東高校体育館の改築(10億円)

R2～3年度にかけて第1体育館を改築

・ 運動場等整備事業(1億4,918万円)

グラウンド:2校(富山北部高校、福岡高校)

テニスコート:2校(高岡西高校、伏木高校)

・ 武道場の改築(1億9,650万円)

改築:1校(八尾高校)

設計:1校(石動高校)



就学支援

(拡)高等学校等就学支援金等(33億9,437万円)[教委・総政]

(拡)高校等奨学のための給付金(2億1,926万円)[教委・総政]

低所得世帯の高校生に給付金を支給

特別支援教育

(拡)とやまの特別支援教育強化充実事業(1,336万円) ★

小中学校を巡回する新たな指導員を配置(2名)し、通級指導教室の専門性向上や体制強化を推進

(拡)特別支援学校就労応援事業(663万円) ★

就労応援コーディネーター(2名)、就労定着サポーター(1名)を配置



学習活動

(拡)英語専科教員の配置(2億8,700万円)★

専科教員を増員配置し、英語の教科化に対応
(全国1位の配置率46.7% [R1.4月時点])



・ 小学校専科教員の配置(5,915万円)★

専科教員(理科・音楽・図工・体育)を配置し、学習内容の高度化に対応

・ 少人数教育推進事業(小・中学校)(1億1,343万円)★

35人学級選択制など効果的な少人数教育を実施

(拡)とやま型学力向上総合支援事業(2,247万円)★

文章や情報を正確に読み解く力の育成に向けた調査・研究を実施

(拡)とやま科学オリンピックの開催(950万円)★

小学校部門に実技問題を加え、富山の自然や環境、歴史・文化等を背景とした問題を用いた富山ならではの大会を開催

(拡)とやまの小・中ライフプラン教育充実事業(300万円)★

ライフプラン教育用冊子の作成や乳幼児ふれあい体験等を実施

・ 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業(1,578万円)★

教員確保対策・教員の働き方改革(多忙化解消)

(新)「とやまで教員」応援事業※(780万円)

UIJターンセミナーや教員養成講座を実施し、優秀な教員を安定的に確保

(拡)スクール・サポート・スタッフ配置事業(6,966万円)

各市町村小中学校に配置(36名→46名)し、子どもと向き合う時間を確保

(拡)部活動指導員配置促進事業(2,038万円)

中学校の配置を支援(72名→91名)し、教員の負担軽減と競技力を向上

生徒指導・支援体制

(拡)小・中スクールカウンセラーの配置(1億6,642万円)

全公立小学校177校、全公立中学校75校、義務教育学校2校に配置
(国の計画から1年前倒しとなるH30から全校に配置)



・ 小・中スクールソーシャルワーカーの派遣(1,701万円)

全中学校区(富山市を除く49中学校区)、義務教育学校2校に派遣

・ いじめ対策ソーシャルワーカー派遣事業(391万円)

いじめの事案発生時に、家庭環境等の改善を図るため派遣



(新)スクールロイヤーの配置(148万円)(再掲)

(新)いじめ対応ハンドブックの作成(190万円)

いじめの早期発見方法や相談手法を盛り込んだハンドブックを配布し、教職員等のいじめ対応能力を向上

・ とやまの子どもを守り育てるネット利用推進事業(100万円)★

小・中学校での「ネットルールづくり」への支援、ネットパトロールの実施

幼児教育・親学び

(拡)幼児教育充実・強化事業(450万円)★

幼児教育施設への訪問研修等を実施し、非認知能力の育成や
幼児教育と小学校教育の円滑な接続を推進

・スーパーバイザー 1名
・アドバイザー 3名→5名

・ とやま親学び推進事業(338万円)★

幼稚園・保育所や小中学校等で親学び講座を開催



①文化活動への幅広い県民の参加

文化を鑑賞・創造・発表する機会の充実

- ・ 県民芸術文化祭の開催(1,820万円)
- ・ 春の県展、秋の越中アートフェスタの開催(1,710万円)

次世代を担う子供たち、青少年の文化活動の充実

【新】2020年とやま世界こども演劇祭の開催支援^{*}(7,300万円)

富山での開催は20年ぶりとなる世界こども演劇祭の開催支援

【拡】次世代育成音楽ふれあい事業^{*}(2,100万円)

世界的コンクールで優勝した葵トリオコンサートの開催(200万円)、バッハ音楽祭とやまへの支援(200万円)、とやま室内楽フェスティバルへの支援(200万円)など

・ 芸術文化指導者招へい事業 (567万円)

音楽、舞踊などの専門家を招き、若手芸術家等を指導



とやま世界こども舞台芸術祭2016

県立文化施設の整備・充実

・ 県立文化施設機能強化推進事業 (2億円)

高岡文化ホール(エレベーター改修等)7,750万円、新川文化ホール(大ホール棟外壁補修等)2,560万円、立山博物館(布橋点検・修繕)920万円 など

「ふるさと教育」の推進

【新】布橋灌頂会魅力発信事業 (540万円)

3年毎に行われる立山町芦峯寺の伝統行事「布橋灌頂会」の開催支援など(立山博物館での企画展290万円、実行委員会への補助金250万円)

・ 高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 (354万円)(教委)

郷土や近現代の日本の歴史、文化を学ぶ機会の充実を図る

・ 世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム事業 (117万円)(総政)

若い世代への富山の魅力や世界遺産の重要性についての普及啓発の実施

③文化と他分野の連携

【新】「国際工芸アワードとやま」開催事業(5,330万円)

国際公募展「国際工芸アワードとやま」の開催を中心に多彩な企画を開催

応募件数709件(H29)U-50国際北陸工芸アワード403件



国際的な工芸アワード (イメージ)

②質の高い文化の創造と世界への発信

アジアを代表する舞台芸術の拠点づくり

【新】演劇の聖地「利賀」ロシア交流事業(600万円)

演劇の聖地「利賀」において、ロシアの演劇人交流事業等を実施

【拡】創造型・舞台芸術人材育成プログラム(5,500万円)

国内外の演劇人を対象としたスズキ・トレーニング・メソッド(海外約20人、国内約10人)、利賀サロン(文化人等によるシンポジウム)開催等

アートとデザインをつなぐ場の創出

・ 富山県美術館企画展等の開催(1億2,731万円)

「東京富士美術館コレクション展」、
「富野由悠季(「ガンダム」シリーズの監督)の世界」等
6つの企画展とコレクション展の開催

・ 富山県美術館プロムナード活性化事業^{*}(730万円)

環水公園内のプロムナードでワークショップ等を開催

ふるさと文学の振興 ～高志の国文学館を拠点に～

【新】第2回大伴家持文学賞・高志の国詩歌賞 贈呈式の開催^{*}(1,600万円)

大伴家持生誕1300年記念に創設した両賞の贈呈式を開催

【新】令和時代の越中万葉首都圏発信事業^{*}(500万円)

富山の文化力を発信するため、東京で中西館長の講演会を開催

ふるさとの歴史・文化の再発見と発信

【新】立山信仰用具活用推進事業 (260万円)

国指定重要有形民俗文化財「立山信仰用具」の活用

【新】世界文化遺産登録推進事業 (2,550万円)(総政)

国際シンポジウムの開催、ユネスコ本部企画展での展示等

【新】立山砂防魅力発信事業 (560万円)(土木)

立山砂防事業の展示・PRや、立山カルデラ砂防体験学習会プログラムの充実強化

【新】富山県北方領土史料室(仮称)整備支援事業 (300万円)(総政)

黒部市と連携して、北方領土史料室(仮称)を整備し、返還運動の後継者を育成

【新】ユネスコ無形文化遺産情報発信事業 (60万円)(教委)

登録された3つの曳山行事の普及啓発活動等の取組みを支援

金額に※印付きの事業は地方創生推進交付金活用



鈴木忠志氏演出

「世界の果てからこんにちは」



富山県美術館



第1回大伴家持文学賞
マイケル・ロングリー氏



中西館長

健康づくり・がん対策の推進と医療の充実

健康づくりとがん対策等疾病対策の推進

健康づくりの推進

- 【新】とやま快眠習慣サポート事業(440万円)
ICTを活用して県民の睡眠不足の要因を分析し、改善方法をPR
- 【拡】野菜をもう一皿！食べようキャンペーン(350万円)
野菜摂取1日350gを目指し企業と連携した啓発等を実施
- 【拡】とやま健康経営パワーアップ推進事業(150万円)
健康づくり優良企業の表彰や先進企業による事例発表等
- 【拡】働き盛り口腔機能向上事業(254万円)
歯と口の健康に関する公開講座や歯周病等の簡易検査の実証



スーパー店頭での野菜摂取の啓発



とやま健康経営企業大賞

がん対策の推進

- 【新】一緒にがん検診キャンペーン事業(250万円)
夫婦や友人等が誘い合って、ペアでのがん検診受診を促すキャンペーンを実施
- 【拡】たばこ対策推進事業(471万円)
受動喫煙防止の相談・指導、大学生との共同禁煙プロジェクトを実施



感染症など疾病対策の推進

- 【新】骨髄移植患者等の定期予防接種ワクチン再接種への支援(100万円)
- 【拡】肝炎対策事業(肝がん予防)(1億1,657万円)
無料肝炎ウイルス検査機関を拡大(33機関→79機関)
- ・糖尿病対策推進強化事業(395万円)
糖尿病患者の腎症等発生予防のため、協議会、研修会等を開催

新型コロナウイルス
感染症緊急対策事業
(2,231万円)[R1予備費]
検査体制の強化、医療安全
体制等の充実

女性・妊産婦の健康支援

- 【拡】切れ目のない妊娠・出産サポート体制支援事業(140万円)
産後うつ等の早期支援のため、県全域における母子保健関係者の連携体制を強化

医療提供体制の充実

医療機能の充実と連携の強化

【拡】地域医療構想の推進

- ・回復期機能病床確保事業(1億4,000万円)
急性期や慢性期機能病床から回復期機能病床への転換を支援(1床あたり、種別に応じて上限25万円・50万円を支援)
- ・地域密着型介護基盤整備事業(11億7,000万円)
介護医療院への転換など、地域密着型の介護サービス施設整備を支援(介護医療院への転換整備[改修]1床あたり111.5万円等を支援)

- ・富山県ドクターヘリの運営(2億5,161万円)
- ・訪問看護ステーションサポート事業(180万円)

急性期から回復期への転換、介護医療院への転換は概ね順調
急性期病床 H²⁶ 6121床→H³⁰ 4667床(△1454床)
回復期病床 H²⁶ 769床→H³⁰ 1573床(+804床)
介護医療院への転換 17施設1040床(R2.1.1時点)

県立中央病院「先端医療棟」の運営(年間運営費30億円)

- ・手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」による効果
手術時間が1時間程度短縮、出血量が1/4~1/6に減少
- ・「スーパーICU(特定集中治療室)」の運営：R1.6月に6床→8床へ拡充



富山県ドクターヘリ

・死亡者数
約5割減(57人減)
・重い後遺症を残した患者数
約4割減(78人減)
※H27~30年度
予後評価



中央病院先端医療棟

人材の養成確保と資質の向上

- 【新】特定診療科等の医師確保推進(4,000万円)
医師不足・偏在状況の調査分析、医師派遣等を行う寄附講座を富山大学に設置(R2~R4)
- 【拡】看護職員の育成研修支援(780万円)
県内外の研修施設における特定行為研修(県内研修施設1→中病含む4)の受講及び認定看護師の資格取得を支援
- 【新】県立大学における看護系大学院、専攻科の設置検討(総政100万円)
看護大学院、保健・助産専攻科の設置のあり方や課題等を調査・検討
- ・医学生、看護学生への修学資金貸与(2億9,832万円)
県内従事期間等を返還免除要件とした修学資金を貸与し、医師等の確保を図る。
- ・女性医師等の支援事業(758万円)
出産・子育て等の各種相談窓口の設置等により、キャリア継続・県内定着を支援

地域共生福祉の推進

地域包括ケアの推進

【新】市町村の包括的支援体制の整備促進(110万円)

モデル市町村(1団体)において断らない総合的な相談窓口設置などの取組みを支援

【新】ひきこもり民間団体取組強化事業(300万円)

ひきこもりの居場所づくりや相談窓口の設置など新たな取組みを実施する民間団体(12団体)を支援

【新】本人の意向を尊重した在宅医療の推進(650万円)

郡市医師会が医療圏ごとに実施する終末期の医療・ケアの提供に関する研修会や市民向け講座の開催などの取組みを支援

【新】若年性認知症に関する企業への調査・研修会開催(100万円)

【新】シニアの食生活支援推進事業(120万円)

新たに、高齢者向け配食サービスを評価したうえで、情報を提供するとともに、高齢者の低栄養予防に携わる人材育成研修を実施

・高齢者自立支援・介護予防推進事業(300万円)



子育て支援等の充実

・保育所等保育料軽減事業(1億3,837万円) (再掲)

国の保育料無償化対象とならない0~2歳児の保育料について、
低所得世帯の第1子、第2子の保育料無償化・軽減 4,391万円
第3子以降の保育料原則無償化 9,446万円

・保育所等副食費軽減事業(3,236万円) (再掲)

市町村と連携し、一定の所得の多子世帯の3~5歳児について副食費を軽減

【新】子ども・若者総合相談センターの設置(700万円)

子ども・若者に関するワンストップの相談窓口(県森林水産会館内)を設置

【拡】放課後児童クラブの運営支援(4億7,141万円)

補助対象 ①242 ⇒ ②254箇所(うち18時を超えて開所 ①122 ⇒ ②130箇所)

(うち18時30分を超えて開所 ①82 ⇒ ②90箇所)

・家族でハッピー！家事・育児分担キャンペーン(800万円 総政)



福祉人材の養成・確保、定着・資質向上

【拡】元気とやま福祉人材確保・応援プロジェクト(8,981万円)

【新】未来の介護体験事業(600万円)

中学校・高校で最新介護ロボットの体験イベントを新たに実施

【拡】中学・高校生介護人材発掘事業(630万円)

従来の出前講座に加え、介護人材募集ポスター制作や高齢者疑似体験を実施

【新】外国人介護人材受入支援事業(590万円)

海外で県及び県内介護事業所の魅力PR、県内で日本語学習等の支援を実施

【新】介護ロボット導入による介護現場の生産性向上を支援(650万円)

業務分析を通じてロボット導入から定着までをサポートする専門のアドバイザーを派遣し、モデル事例を創出(2事業所)、ワークショップ等で横展開

【拡】介護ロボットの導入支援の拡充(600万円)

【新】VRを活用した認知症対応力向上研修(100万円)

相談支援職員や介護事業所職員等を対象とした研修を開催

【拡】富山型デイサービス職員研修事業(100万円)

従来の座学研修に加え、実地研修を開催

【拡】医療的ケア児等とその家族に対する支援(305万円)

令和元年度から取り組んでいるコーディネーターの養成に加え、

- ①コーディネーターのフォローアップ研修の実施、②保護者交流事業の実施、
- ③喀痰吸引等研修受講への補助制度(3/4補助)の創設



介護ロボットの活用

障害者福祉の充実

【拡】障害者の工賃向上支援(農福連携含む)(1,170万円)

農福連携コーディネーターを配置し、農業経営体と福祉事業所のマッチングを実施(目標:概ね5件)



農福連携

【拡】重度心身障害者等医療費助成費(精神障害者)(2,354万円)

65歳未満の重度精神障害者を対象に入院・通院に係る医療費を支援

・児童発達支援センターの支援(3,000万円)

令和元年度に引き続き、県内4か所の児童発達支援センターを支援

スポーツの振興

～スポーツで創る、笑顔・ひと・元気とやま～

県民がスポーツに親しむ環境づくり

東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業の実施

(新) 東京2020オリンピック聖火リレー・パラリンピック聖火フェスティバルの開催(1億1,050万円)

(新) 東京2020オリンピック招聘事業(200万円)

東京2020のオリンピックを招きスポーツ教室等を実施

(新) 東京2020大会事前合宿・スポーツ交流支援事業(500万円)

市町村による東京2020大会の事前合宿受入等を支援(1/2補助、上限100万円)

(新) ふれあいパラスポーツフェスタの開催(240万円) [厚生]

パラリンピアンを招き、障害者スポーツ体験イベント等を実施



聖火リレールート(全186名が走行)

(新) 武道館機能を有する多目的施設整備事業(1億700万円)

・「富山マラソン2020」の開催(9,272万円)

開催日：令和2年11月1日(日)
定員：14,000人(併設レース含)
ふるさと納税枠700人を設けて実施



県民歩こう運動推進大会

・県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催(430万円)

・「サイクルフェスタとやま2020」の開催(※400万円)

・「富山湾岸サイクリング2020」の開催(※180万円) [親交]

開催日：令和2年4月12日(日)、募集人数：1,500人



富山マラソン

・障害者スポーツ活動総合推進事業(2,220万円) [厚生]

・県営スポーツ施設の整備〈公共・主要県単〉(7億6,700万円)

総合体育センター中アリーナ冷暖房設備の新設、総合運動公園陸上競技場電気設備の更新等



富山湾岸サイクリング

全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成

(新) 国際競技力向上推進事業(200万円)

県ゆかりの日本代表候補選手や指導者の国際大会参加等を支援

・TOYAMAアスリートマルチサポート(920万円)

スポーツ医・科学に基づく一貫した体力トレーニング体制を構築

・県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業(1,200万円)

オリンピック等で活躍できる選手の活動費等を支援

・未来のアスリート発掘事業(600万円)

・2020東京オリンピック・パラリンピック

とやま戦略事業(215万円)



「2020東京オリンピック・パラリンピックとやま戦略会議」を設立

スポーツを支える人材の養成と活用

・スポーツエキスパート活用推進事業(1,345万円) [教委]

学校の運動部活動に地域の優れたスポーツ指導者を派遣

・スーパートレーナーの設置(592万円)

オリンピック等で日本代表選手をサポートした経験のある専門知識を有したトレーナーによる支援



スーパートレーナーによるトレーニング指導

学校等における体育・スポーツの充実

・武道指導者資質向上支援事業(391万円) [教委]

・スーパーとやま元気っ子育成事業(182万円) [教委]

体力つりシート「みんなでチャレンジ3015」の活用

・とやま元気っ子スポーツライバル事業(100万円) [教委]

地域のスポーツ人材を活用した教員の指導力向上と異校種間交流の促進



とやま元気っ子スポーツライバル事業(イメージ)